

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	はぐハウスⅢ	公表日	2026年 5月 7日
------	--------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	活動にあわせ工夫しています	スペース確保のため、整理整頓は常に行っています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	職員配置は基準に合わせて適切に配置しています	見守り、医療ケア児が必要なお子様が多い為配置基準以上の職員が必要な時の応援体制を整えています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		整理整頓を常に行い、バギーや車いすが通りやすくしています。棚の配置は児童安全に配慮し工夫しています	パーテーションで区切ったり落ち着いて過ごせる空間の確保等に努めています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		消毒掃除を徹底して行い、安全に配慮した空間になるよう物の配置、数を考えています。支援終了後は玩具の消毒を行っています	バギーのタイヤの拭き取りをしていますが、十分にできているか、掃除が行き届いているかの確認を強化し今後も清潔空間が確保できるようにしていきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		パーテーションで区切ったり落ち着いて過ごせる空間の確保等に努めています	パーテーションで区切ったり落ち着いて過ごせる空間の確保等に努めています
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		毎日その日の活動の反省や情報共有の時間をしっかり取り、問題解決に対する改善に向けた話し合いをしています	ミーティング参加できない職員にも、共有ノートを利用し確実に周知できるような工夫をしています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者の方の希望や意向を確認し会議などで話し合い共有しながら改善に努めています	意向調査を行い業務改善につなげていきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		定期的に会議を行い意見交換を行い、その内容を業務改善につなげている	ミーティング実施し業務改善につなげていきます 参加できない職員にも、共有ノートを利用し確実に周知できるような工夫をしています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10			第三者による外部評価を検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		施設内外研修への参加をして、資料を基に施設内研修を実施しています	施設外研修に積極的に参加し、情報共有しスキルアップに努めます
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		ホームページ等で公開しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		保護者の方と定期的な連絡をとり、ニーズの把握をモニタリングを行っています	保護者の方の希望や意向を確認し会議などで話し合い共有しながら改善に努めています
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		保護者の方の希望や意向を確認し会議などで話し合い共有しながら改善に努めています	定期的な検討会議が行われているが、課題を具体的にし職員全員の共有に努めていく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		発達支援を中心に具体的な内容で設定しています	会議に参加できない職員にも支援しやすく統一した支援提供が出来るように努めています
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		独自のアセスメントツールを使用しています	研修会議等実施し周知していきます
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		発達支援を中心に具体的な内容で設定しています	会議に参加できない職員にも支援しやすく統一した支援提供が出来るように努めています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		保育士・理学療養士を中心に行っています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		特性に合わせた療育に工夫をしています	季節を感じる事が出来るように工夫している

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		発達、特性に合わせた児童発達支援計画の作成をし、集団の活動に取り組んでいます	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日朝礼を行い、一日の支援の確認をしています	活動内容の伝達の時間を確保しているが、より深く伝達できるような時間確保に努めています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		終了時間が一定ではないですが、記録を行い申し送りを行っています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		日々の記録を徹底して行い、情報交換、共有を行っています	ミーティングで事例検討をおこない支援の検証や改善の話し合いをしています
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		必要に応じモニタリングを行っています	全職員が把握できるように回覧方式で伝達共有に努めています
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者に限らず状況に合わせた必要と考える者が参画しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		担当者会議の出席等により連携を図っています	全職員が把握できるように回覧方式で伝達共有に努めています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		定期的な会議へ積極的に参加しています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		担当者会議の出席等により連携を図っています	入学時には情報共有のため積極的に学校、関係機関と連携し安心して移行できるようにしています。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		定期的な会議へ積極的に参加しています	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	3		積極的に機会を持っています
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		連絡帳や送迎時の申し送り等で情報交換、共有を行っています	積極的に機会を持っています
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		定期的に保護者様参加型の研修や行事を行い必要な情報共有を行っています	積極的に機会を持っています
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		保護者様と連絡をとり、説明をしています。必要に応じた助言ができるようにしています	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		保護者様と連絡をとり、ご意見を聞き取りを行っています。必要に応じた助言ができるようにしています	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		保護者様と連絡をとり、説明し同意を頂いています	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		保護者様と連絡をとり、必要に応じた助言ができるようにしています	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		定期的に保護者様参加型の研修や行事を行い必要な情報共有を行っています	積極的に機会を作っていきます
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		相談や申し入れには迅速に対応しています	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月のおたよりの作成、必要に応じたお知らせを発行しています。またホームページにも公開しております	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報を安全に管理しております	

	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		自己の意思決定の表出、表現できるように支援しています	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		今後交流の機会を図れるように検討していきます
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		職員、児童、保護者の方も参加で定期的な訓練を実施しています	マニュアルあり、研修は随時行っているが、家族等への周知を強化していきます
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		定期的な訓練を実施しています	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		医師からの指示書をいただき保護者からも聞き取りを行っています	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		医師からの指示書をいただき保護者からも聞き取りを行っています	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画を作成しています。適宜研修実施	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		保護者様と連絡をとり、ご意見を聞き取りを行っています。必要に応じた助言ができるようにしています	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		全員が積極的に取り組み事例検討を行っています	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止に関する研修や虐待チェックリスト実施。施設外研修にも積極的に参加	虐待につながらないように職員のメンタルヘルスのフォロー方法が課題
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		身体拘束の必要性について話し合いの場が設けられている。身体拘束適正化委員会を行っている	